



いちょう

発行日 平成29年 3月24日
発行者 小山市立福良小学校長
中島 利雄

長い間、福良小へのご支援・ご協力ありがとうございました。

小山市教育委員会から栃木県教育委員会への学校の廃止届日は3月31日となりますが、本日3月24日(金)の修了式をもって、子どもたちに対する福良小としての実質的な教育活動はすべて終了しました。保護者、そして地域の皆様方には、長い間、ご支援ご協力を賜り、ありがとうございました。

「福良小最後の卒業式」挙行



3月17日(金)に、本校としては最後となる卒業式が行われました。12名の卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。最後の証書番号は「2707番」でした。(福良小では、戦後の学制改革を機に、昭和22年度の卒業生から「1番」としてカウントされています)

144年の歴史の中で、本校の耐火書庫に記録が残る明治30年度からの卒業生を含めると、6000人以上となり、それ以前の勸善学舎時代まで遡るとさらに多くの卒業生がいることと思われます。卒業式当日は、好天に恵まれ、見送りも華やかに行われました。



絹義務教育学校開校に向けて

4月1日付けで小山市教育委員会から栃木県教育委員会に「絹義務教育学校」の設置届が提出され、新たなスタートを迎えます。1月から始まった校内の児童用トイレの洋式化への改修工事も今週末に終わる予定で、これで施設設備面での改善がほぼ終了しました。

県内初の「義務教育学校」の開校に向け、子どもたちのための人的配置や保護者負担の軽減の面でも市内の他校と比べ特段の配慮を考えています。具体策の一部を紹介すると、

- ①相談員とスクールカウンセラーが交替で週5日間毎日教育相談に対応できる体制を図ります。
- ②ALTが週5日間毎日常駐して英語教育の充実を図ります。
- ③国の教員定数基準を上回る教員を配置し、統合による子どもたちの人間関係の円滑化と新しい環境への適応に努め、学習指導や生活指導の充実を図ります。
- ④スクールバス導入により、登校と下校の合間での校外学習等での利用も一部可能になることから、従来の借り上げバスと比べ保護者の負担軽減を図ります。
- ⑤学校運営協議会を設置し地域の声を学校経営に反映させ、地域とともにある学校づくりをさらに推進していきます。・・・詳しくは4月以降に

